

- 指宿市の主要野菜であるオクラ・豆類は、マイナー作物で登録農薬が少なく、安心安全志向の高まりから減農薬栽培の取り組みが求められていた。また、毎年新規就農者数が県内トップで、早期定着が求められていた。
- 農業開発総合センター等と連携し、**オクラ・スナップえんどうのIPM技術の実証**に取り組み、普及を図った。
- 関係機関団体と地域リーダー等との連携を強化するため、就農定着支援チームを設置した。**
- 新規就農者の定着促進のために、関係機関団体及び指導農業士会と連携し、**ニューファーマー講座**を毎年開催して、栽培技術及びIPM技術習得を図っている。

## 具体的な成果

## 普及指導員の活動

**1 露地野菜のIPM技術の確立及び普及**

## ■オクラ

平成25年度から3年間の実証により、技術を確立し、28年度より普及を図り、令和2年度には**44ha**と取り組み面積が拡大した。

## ■スナップえんどう

平成27年度から5年間の実証により、技術を確立し、令和2年度より普及を図り、**8.6ha**と取り組み面積が拡大した。

**2 就農定着支援チームの設置**

■平成26年度に「就農定着支援チーム」を設置し、個別指導の強化を図り、早期定着を支援している。

■新規就農者1戸あたりの農産物販売額は、平成27年度は249万円であったのに対し、5年後の令和元年度は**544万円と倍増**した。

■平成26年度以降、**168人が就農し、うち27人が認定農業者に認定された。**

**3 ニューファーマー講座の開設**

■従来の基礎講座に加え、平成16年度にオクラ・そらまめ、平成23年度にスナップえんどうのニューファーマー講座を開設して、**指導農業士による栽培及び経営技術の研修を行い**、早期定着を図っている。

平成16年度～

■**ニューファーマー講座の開設**

オクラ・そらまめ

スナップえんどう(平成23年～)

平成25年度～27年度

■オクラのIPM技術の**実証**

平成26年度～

■指宿市担い手総合支援協議会に「**就農定着支援チーム**」を設置

平成27年度～令和元年度

■スナップえんどうのIPM技術の**実証**

平成28年度～

■オクラのIPM技術の**普及**

令和2年度～

■スナップえんどうのIPM技術の**普及**

## 普及指導員だからできたこと

・コーディネイト機能を発揮して結成した支援チームが円滑に機能している。

・試験研究等と連携し、先進的な露地IPM技術の確立、普及が産地一丸となって取り組めた。